

# any

ars nova yamaguchi

「エニー」

autumn 2013  
Oct. - Dec.

# 86

特集

「パギャグニニー  
日本ツアー2013」  
山口公演

こんな聴いたことがない!?

新感覚のクラシック。  
エンターテインメント



 **パギャグニニー**  
Pagagnini

特集

- 03 こんなに聴いたことがない!  
新感覚のクラシック・  
エンターテインメント  
「パギャグニーニ 日本ツアー 2013」山口公演

ピックアップイベント

- 08 まだまだ続く  
YCAM10周年記念祭!

山口情報芸術センター

YCAM10周年記念祭  
坂本龍一+高谷史郎「LIFE-fluid, invisible, inaudible...」  
初公開からさらにバージョンアップして登場

YCAM10周年記念祭

「YCAMDOMMUNE」「LIFE by MEDIA」  
「FILM by MUSIC」  
10周年記念祭では街中のプログラムも多彩に展開中

中原中也記念館

特別企画展「『文学界』と中原中也—1930年代の文芸復興—関連企画  
中也ウィーク  
さまざまなイベントで、中也を想う1週間

山口市民会館

ディズニー・オン・クラシック〜まほうの夜の音楽会 2013  
ようこそ、まほうの夜の音楽会へ!

親と子どものミュージカル「ルドルフとイッパイアッテナ」  
日常をちょっと飛び越えて広がる冒険の世界

- 12 any 通信

◎アーティストボイス ベルリン・フィルハーモニック・ストラディヴァリ・ソリスト (音楽家・アンサンブル)  
◎お先に試写しました 「Playback」  
◎いらっしやいませ TOYTOYDOMMUNE  
◎GOOD GOODS 中原中也記念館オリジナルグッズ「一筆箋」  
◎My Favorite 中野恭子 (山口市民会館 職員)

- 14 イベントカレンダー 10~12月  
INFORMATION



パギャグニーニ

特集  
「パギャグニーニ  
日本ツアー 2013」  
山口公演

日本  
初上陸!

こんな聴いたことがない!?!  
新感覚の  
クラシック・  
エンター  
テインメント

ヨーロッパを中心に世界中に旋風を巻き起こしてきた  
スペインの弦楽四重奏「パギャグニーニ」が  
12月、ついに日本初上陸!  
クラシック音楽の概念を切り崩すような圧倒的なパワーと  
抱腹絶倒のパフォーマンス、超絶技巧のテクニク...  
みたことも聴いたこともない、  
新感覚のクラシック・エンターテインメントを  
体験することができます。



エンターテイナーです。演奏しているパフォーマーというか、踊ったり、飛び跳ねながらというスタイルで会場の中を常に動き回ったり、踊ったり、飛び跳ねながらというスタイルで演奏しているパフォーマーというか

# パギャグニーニ Pagagnini

彼らを日本に呼びよせパギャグニーニ旋風を巻き起こしたいと、今回の日本ツアーを企画したのは、福岡のテレビ局であるテレビ西日本。その事業をご担当の武富浩一郎さんにこのたびインタビューを敢行。パギャグニーニの魅力をつぶりに語っていただきました。

まずは、「パギャグニーニ」とはどんなグループなのか教えてください。

パギャグニーニは、おもにスペインを拠点に活動している弦楽四重奏のグループです。クラシックをベースとしながらも、私たちが思い描くような譜面台を見ながら座って演奏するスタイルではなく、ステージや客席を常に動き回ったり、踊ったり、飛び跳ねながらというスタイルで演奏しているパフォーマーというかエンターテイナーというか、そういったグループになります。彼らのコンサートを観ていると、普通に座って演奏している時間はほとんどないんじゃないかと思うくらい、常に動いていますよ。

なぜ彼らは座って音楽をしっかりと聴かせるという本来のクラシック音楽のスタイルをとらず、パフォーマンス性の強い演奏スタイルをとるようになったのでしょうか？

メンバー一人ひとりとはもともとクラシック出身の人たちで、とくにリーダーのアラ・マリキアンは国際コンクールでの優勝経験もあり、卓越した技術をもったプレイヤーとして活躍しています。そんなアラがソロ活動をするにあたり、クラシックの世界で活動をする一方で、アルゼンチン・タンゴやロック、ポップスのミュージシャンなど、ほかのジャンルの人たちとも積極的に共演してきました。そういった多彩な音楽活動のなかで、クラシックに固執しない

エンターテイメントを追求したいという思いが強くなり、そこからパギャグニーニの発想が生まれたようです。彼の身近にいた技術が優れたメンバーに声をかけ、いまのような弦楽四重奏の編成のパギャグニーニが誕生したと聞いています。

ギャグやコントのようなシーンの演出や、コンサートの全体の構成は、ほとんどがリーダーのアラ・マリキアンが考えたアイデアを中心に作られています。もちろん、パギャグニーニという名前(作曲家であるパガニーニを文字ってギャグという言葉を入れている)だけあって確かにコミカルなところは多くありますが、決してギャグだけじゃないところもみせてくれます。

その先のクラシックの奥深い世界に興味をもってもらえるのではないかと思ったから。

そもそも日本でまだ紹介されていないパギャグニーニを呼ぼうと思われたのはなぜですか？

彼らは日本にこそまだ来たことはないですが、お隣の韓国も含め、アメリカ・ニュー

ヨーク公演、南米公演もしていますし、すでにヨーロッパ中では大変な人気で、いずれ日本でも知られていくことになるのは間違いのないカルテットでした。なので、ぜひ自分たちで日本に呼びたい、と思ったのが最初のきっかけです。

パギャグニーニのコンサートでは、ヴァイオリンであったりチェロであったり、いわゆるクラシックで使う楽器の音に直接触れてもらうことができます。しかしながら、彼らが演奏するのは通常のクラシックの方々とはスタイルが違うので、こんなおもしろい演奏や弾き方ができるんだ、こんな曲も弾けるんだ、といったところも知ってもらうことで、その先のクラシックの奥深い世界に興味をもってもらえるのではないかと思ったからです。そういった「クラシック音楽への導入」が一つの目的としてあります。

新しいムーブメントを日本でもおこすことができるんじゃないか。

また、パギャグニーニ自体が一つのエンターテイメントとしてきちんと確立されているものなので、新しい

ムーブメントを日本でもおこすことができるんじゃないか、そこも今回日本に彼らを迎えようと思った大きな理由の一つになっています。今年の冬に、彼らの韓国公演の様子を観に行ったのですが、1曲目が勢いよく始めるとすぐにコミカルな動きも始まり、会場からはくすくすと笑い声が聞こえてきて…。少しずつ笑いの雰囲気もふくらんでいく感じが感じられました。次の曲ではそんなに飛び跳ねなくてもいいのというくらい飛び跳ねていて(笑)、あの場面は誰もが笑わずにはいられないでしょうね。寸劇のようなシーンも入ったりして徐々に会場内が温まっていくのですが、中盤になるとかなりカッコいい曲も演奏します。そのあたりになると韓国では拍手喝さいがものすごく、曲が終わった瞬間に「うわー」という歓声と口笛も鳴り響いて、アンコールの後はスタンディングオ

バージョンでした。そんな光景が日本でも見られるといいなと思っています。



武富浩一郎さん (TNCテレビ西日本事業局事業部) 今回の「パギャグニーニ日本ツアー」を担当

絶対に裏切らない。  
彼らはその期待を  
楽しみが増していく。  
毎回曲が終わるたびに  
飛び出すんだらうと、  
次に何が



1個1個のギャグはもちろんおもしろい、テクニックもすごい。ですが、コンサート全体がきれいで完璧なプログラムに仕上がっているので、頭から最後まで通して観たときの達成感というか満足感がすごく良いんですね。個人的には「ブラスト」のようなパワフルなマーチングショーを観たような充実感を感じました。なので、笑いに期待したり、技術がすごい演奏を聴きたいというだけでなく、「パギャグニーニ」という演目をトータルとして楽しんでいただけたらと思います。

まったく  
肩肘はらずに楽しめる  
コンサートだと  
思っていただけで  
間違いないです。

今回の日本ツアーでは、どんな曲が楽しんで、またどんなところに注目してみる(聴く)といいでしょうか？

基本的には有名な曲で、みなさんご存じの曲ばかりです。冒頭は、サラサーテの「カルメン幻想曲」から始まります。ほかに誰でも知っているところでは、パッヘルベルの曲の「カノン」であったり、ヴィヴァルディの「四季」などがあります。あとはヴァイオリンのソロの曲でバガニーニの「24のカプリース」という曲があるのですが、そのなかの24番目、最後の曲ですね。こちらもおそらく耳にしたとき「あ、聴いたことがある」と思っただけなのでしょう。このように、クラシックの曲からは誰でも聴いたことのある曲が選ばれているし、こういったクラシックの作品以外では、セルジュ・ゲンスブールというフランスのポップス界でとても有名なシンガーの作品であったり、あとはU2の曲をエレキヴァイオリンの多重録音のような形で披露する曲もあったり、非常にバラエティに富んだ曲構成になっています。また、プログラムには記載していませんが、今回の来日がクリスマス時期ということもあって、特別にクリスマスにふさわ

パギャグニーニ PAGAGNINI  
スペイン・マドリッドを中心に活動する、クラシック音楽をベースにした弦楽四重奏によるパフォーマンス集団。圧倒的なテクニックとユニークな演奏スタイルでヨーロッパではすでに人気定着。2013年12月、初めての日本公演が行われる。

メンバーからメッセージが届きました！

私たちは、大好きな日本で初めて演奏できることを心から幸せに思い、今からとてもワクワクしています。皆さんに来ていただくパギャグニーニのコンサートが、とてもエキサイティングで素晴らしいものになるよう、心を込めて最大限のパフォーマンスをお見せしたいと思います。

アラ・マリキアン (パギャグニーニリーダー) *Ara Malikian*



メンデルスゾーン国際コンクール(1987、ベルリン)とサラサーテ国際コンクール(1995、スペイン)で優勝後、すでに40以上の国々で演奏活動を行い、また20枚以上のCDをリリースしている。また、東京交響楽団やバンベルク交響楽団ほか世界各地のオーケストラとも共演。ジャズやタンゴ、フラメンコのアーティストとのコラボレーションや映画音楽の録音も多い。その多彩な活動から「パギャグニーニ」を生み出す。スタジオや劇場で活躍する腕利きのプレイヤーを集め、誰もが楽しめるクラシック・コメディ・エンターテインメントを作り上げることに。台詞はなく、常にステージや客席を動き回り、観客の意表をつくノンストップのステージは、いまなお進化を続けている。

しい曲目も演奏してもら予定です。彼らが作り出す音圧や迫力はとてもエネルギーにあふれていて、たった4人でやっているとは思えないほど。クラシックのジャンルではほかに味わうことができないと思います。オーケストラに匹敵すると言ってもいいぐらい。そういう世界を観ることができますので、そこをぜひ楽しみにしてもらいたいと思います。まったく肩肘はらずに楽しめるコンサートだと思っただけで間違いないですね。最初から最後まで堅苦しいところは一瞬もないので。上質の音楽を聴きたい方にも、気軽に音楽を楽しみたい方にとっても、どちらの要望にも応えられるだけの演奏テクニックと、最高のエンターテインメント性を彼らは持ち合わせています。

いままでにない新しい感覚のコンサートが味わえそうですね。

そうですね。正直言ってこういうのはこれまで観たことがなかったです。パギャグニーニのスタイルとしか言えないくらい彼らは独特で、個性があって、確立され

たスタイルをもっています。「なぜパギャグニーニを日本に呼びかけたのか？」という先ほどの質問で、最初に映像を見たときに、「こんな観たことがない！」という驚きがあったからというのが実はあって、単純に「パギャグニーニ」を自分もライブで経験してみたい、そして日本人にも観てほしいという思いがあったからでもあります。彼らがどうして世界中で活躍できるのかというと、言葉のいらないパフォーマンスなので、どの国に行っても演奏と動きだけで楽しませることができる、そこが大きいんじゃないかと思います。とにかく始まる彼らに釘付けになって目が離せなくなりますよ。次に何が飛び出すんだらうと、毎回曲が終わるたびに楽しみが増していくし、彼らはその期待を絶対に裏切らない。さらにすごいものを出してくる、そんな素晴らしいステージになっています。彼らも日本に来るのを楽しみにしています。そして、山口の皆さんにもきっと気に入っていただけるはず。ぜひ会場に足をお運びください。

「パギャグニーニ 日本ツアー2013」 山口公演

2013年12月15日(日)  
15:00開演 (30分前開場)  
会場: 山口市民会館 大ホール  
[チケット情報] 発売中  
[料金] 全席指定 ※3歳以上有料  
前売 一般 4,000円 any会員 3,500円(1会員4枚まで)  
25歳以下 2,000円  
こどもステーション山口会員 無料  
当日 4,500円

PRESENT

「パギャグニーニ 日本ツアー2013」 山口公演のチケット(ペア5組)をプレゼントします。

【申込方法】住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、今号の「any」の感想をご記入の上、10月31日(木)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailでご応募ください。

【あて先】〒753-0075 山口市中国町7-7 (公財)山口市文化振興財団  
「any vol.86 特集プレゼント」係  
FAX:083-901-2216 e-mail:any@ycfcp.or.jp  
※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。



●雨を初めて見た感覚。確かに。(20代女性 [YCAM10周年記念祭オープニングトーク]より)  
●こんなふうになんか楽しんでいるのかと、湯山さんの視点がすごく刺激的でした。(40代女性 [YCAMDOMMUNELIVE]より)  
●「女給達」がとても良かった。最後の2文にやられた。(10代女性 [中也のうた]より)  
●何度も観に来ますが、初めて舞台上に上がり、奥まで観られて良かったです。(40代男性 ハイナードゲベルス[Stifters Dinge]より)



●爆クラおもしろかったです!! 90分では短かった〜。(40代女性 [YCAMDOMMUNELIVE]より)  
●アンコール3曲ではストラディヴァリウスの名器を遺憾なく演奏していた。  
●やはりドイツ人のサービス精神は素晴らしい。(40代男性 [ストラディヴァリウス・サミット・コンサート2013]より)  
●昔の地図もありとてもよく見ることができた。(10代女性 「旅する中也」一汽車の笛聞こえればより)

# YCAM 10周年記念祭!

## まだまだ続く

世界的に活躍する音楽家・坂本龍一をアーティストックディレクターに迎え、さまざまな企画を展開してきたYCAM 10周年記念祭。この秋からも多彩なラインナップで第2期が始まります。

### 第2期コア期間

2013年11月1日(金)～12月1日(日)

※日程の記載がないものはコア期間に行われるイベントとなります。

#### 坂本龍一+高谷史郎 新作インスタレーション

11月1日(金)～2014年3月2日(日) 会場:山口情報芸術センター スタジオB  
坂本龍一とアーティスト・高谷史郎の2人による新作アート作品。10周年のテーマである〈アート〉〈環境〉〈ライブ〉から着想を得て、“水”と“水滴”に着目した作品を発表します。

#### walking around surround インスタレーション

会場: はりはり(山口市道場門前2-3-8)  
昨年、地元の小学生たちによって集められた「山口の音」を、市内商店街の路地にあるギャラリースペースで展示公開します。

#### 能楽コラボレーション 野村萬斎+坂本龍一+高谷史郎

「LIFE-WELL」(関連企画の日程等詳細はお問い合わせください)  
10月22日(火) 会場:山口情報芸術センター スタジオA  
アート作品「LIFE-fluid, invisible, inaudible...」の下で展開する能楽とは? 第一線で活躍するアーティストが集結し、これまでに見たことのないまったく新しい形の能楽を創作。また関連企画として、野田神社境内を舞台にライブや展示を行います。

#### 坂本龍一+高谷史郎 「LIFE-fluid, invisible, inaudible...」

11月1日(金)～2014年3月2日(日) 会場:山口情報芸術センター スタジオA  
2007年にYCAMで発表され、その後国内はもとより、海外へも巡回した「LIFE-fluid, invisible, inaudible...」。新たなシーンを追加したバージョンアップ版として再登場します。

#### 国際シンポジウム 「Localizing Media Practice —地域化するアートの未来」

12月1日(日) 会場:山口情報芸術センター ホワイエ  
アート×テクノロジー、教育、デザイン、産業。世界のユニークな実践を紹介しながら、これからのアートの場について考察するシンポジウム。

P I C K U P E V E N T ! A U T U M N 2 0 1 3  
ピックアップイベント

### 山口情報芸術センター(YCAM)

http://10th.ycam.jp/

YCAM10周年記念祭

#### 坂本龍一+高谷史郎 「LIFE-fluid, invisible, inaudible...」

2013年11月1日(金)～2014年3月2日(日) 10:00～19:00  
会場:スタジオA

#### 初公開からさらにバージョンアップして登場



2007年の作品展示の様子

空中に吊られた9つの水槽。そのなかで人工的に発生する霧。そこに映像が投影され、ランダムに聞こえてくる音楽が、時間の流れを忘れさせる幻想的なインスタレーション作品「LIFE-fluid, invisible, inaudible...」。20世紀の音楽を芸術と文明の流れからとらえ直し、戦争と革命を超えた共生のビジョンを開示した坂本龍一のオペラ「LIFE」(1999)をベースに、新たな音源、映像、シス

テムを加えて再構築したインスタレーション作品としてYCAMで2007年に発表されました。それから6年の歳月を経て、新たなシーンを追加したバージョンアップ版が再び私たちの前に登場します。東日本大震災が起こり、私たちの自然環境への意識や感覚も大きく揺るがされたいま、本作は何を語りかけてくるのか。ぜひご覧ください。また関連企画として作品の下で行われる能楽コラボレーション(10/22)も必見です!

わたしはココに注目する!

初公開時は、水槽の下であおむけに寝転びながら、じっくりと作品を鑑賞する人たちの姿が多くみられました。なかには心地よく寝ちゃう人も? そんな姿が今回もみられるかもしれません。

料金 | 無料

YCAM10周年記念祭

#### 「YCAMDOMMUNE」「LIFE by MEDIA」「FILM by MUSIC」

2013年11月1日(金)～12月1日(日) ※「FILM by MUSIC」は10月も開催しています。  
会場:山口市中心商店街、一の坂川周辺 ※開催時間はプロジェクトによって異なります。詳しくはお問い合わせください。

#### 10周年記念祭では街中のプログラムも多彩に展開中



「YCAMDOMMUNE」



「とくいの銀行 山口」(「LIFE by MEDIA」)



「Swindows」山口特別篇(「FILM by MUSIC」)

10周年記念祭のプログラムは、街中でも展開中です。山口市中心商店街(道場門前)の空きビルを改装した「YCAMDOMMUNE」では、トーク番組やライブパフォーマンスをネット上で発信し続けるライブストリーミング放送局「DOMMUNE」がこれまでに配信してきた膨大な数の番組の中から厳選したプログラムを見ることが出来ます。また隔週の頻度でここからトークやライブ企画を生配信しています。メディアと新しい生活(LIFE)の在り方を提案するコンペ「LIFE by MEDIA」

で受賞した「PUBROBE」/「とくいの銀行 山口」/「スポーツタイムマシン」の3つのプロジェクトも商店街の各場所できがやかに展開中。さらに山口駅通りのカフェFRANK、風光明媚な一の坂川周辺では、映像コンペの受賞作品や招聘作家による作品を公開しています。ぜひ街をめぐってみてください。

わたしはココに注目する!

山口の街を舞台に、アートプロジェクトが様々な展開しているこの秋。めぐるうちにいつもの日常風景とは違う山口の街を感じる事ができるかもしれません。

料金 | 無料

### イベントレポート

#### 「THE OPENING LIVE CONCERT」



去る7月26日にYCAM10周年記念祭のオープニングコンサートが行われ、坂本龍一、上野耕路、ILLUHA、テイラー・デュブリーが出演。ホワイエに展示されたサウンドインスタレーション「Forest Symphony」の音源を取り込んだ坂本龍一によるラップトップのソロ演奏に始まり、2部の上野耕路率いる豪華バンド編成による演奏では、上野耕路・坂本龍一のピアノ連弾も実現し、観客を魅了。最後に坂本龍一・ILLUHA・テイラー・デュブリーによるトリオ演奏では繊細で微かな音の世界が会場を包み込んでいました。中身の濃い3時間半のコンサートは好評に終わり、現在第2期も音楽イベントを計画中です。ぜひそちらにも足をお運びください。

### イベントレポート

#### コロガルパビリオン 関連ワークショップ 「子どもあそびばミーティング」



YCAM前の中央公園で現在公開中のメディア公園「コロガルパビリオン」。7月26日にオープンして以来、今年のあの猛暑でも汗をいっぱいかきながら遊ぶ子どもたちで連日にぎわいをみせてきました。そんな中、8月18日には、子どもたちがYCAM InterLabスタッフとともに、「コロガルパビリオン」に追加したい遊びや機能を話し合う「子どもあそびばミーティング」の第一回目を開催。参加した子どもたちからは「ミストを自由に出せるミストマンがほしい」「ある時間になると影ができて、何かの絵が浮かび上がる」などユニークで楽しいアイデアが次々に飛び出しました。この中で採用されたアイデアは、アップデート後、実際に新しい機能として追加されていきます。子どもたちのアイデアでどんどん変わっていく「コロガルパビリオン」。会期は12月1日まで。

観覧した  
の!

- ◎装置を見せてもらえるところがおもしろい。(10代男性 ハイナードゲルベス「Stifters Ding」より)
- ◎「中世の詩論」のパネルを読んでいるまじらながらはっとした。詩こそ、彼そのもの、彼のうた。(40代女性 「中也のうた」より)
- ◎いろいろな思いを持って音楽(ノイズ)に身をゆだねられた。(40代女性 「THE OPENING LIVE CONCERT」より)
- ◎心地良い。機械が生きているようでした。(20代女性 ハイナードゲルベス「Stifters Ding」より)

## 中原中也記念館

http://www.chuyakan.jp/

特別企画展「『文学界』と中原中也—1930年代の文芸復興」関連企画

### 中也ウィーク

2013年10月19日(土)、20日(日)、22日(火)、26日(土)

※時間はイベントによって異なります。申込方法とあわせて、詳細はお問い合わせください。

### さまざまなイベントで、中也を想う1週間



29歳の中也(昭和11年1月)

10月22日は中原中也の命日。1937年に30歳で夭折した中也は、現在、山口市吉敷の経塚墓地で静かに眠っています。中原中也記念館では、命日を含む1週間で「中也ウィーク」と題して、さまざまなイベントを開催します。開催中の特別企画展「『文学界』と中原中也—1930年代の文芸復興」にちなんだバスツアーや、中也を偲ぶ「中也忌」、記念館前庭で行われる一箱古本市&カフェなど、普段とはひと味違った中也記念館を楽しめるイベントが目白押し! ぜひご参加ください。

※参加料はイベントによって異なります(無料のものもあり)。詳しくはお問い合わせください。

バスツアー 文学散歩「岩国探訪」

10月19日(土)

中也忌 ～墓前祭と中也に捧げる夕べ

10月20日(日)

中也命日

10月22日(火)

一箱古本市&カフェ

10月26日(土)

中也記念館先着10名様にグッズプレゼント

わたしはココに注目する!

中也忌の「中也に捧げる夕べ」では閉館後の中也記念館を会場に、キャンドルナイトや朗読会、音響機コンサートを行います。ムードあふれる夜の記念館で、中也を想うひとときを過ごしてみませんか?

## 検定 中也



かつての吉敷川

Q 中也の眠る「中原家累代...之墓」は吉敷の経塚墓地にあり、すぐそばには吉敷川が流れています。増水したとき以外は水が地下を流れ、地表に水がみえていないことから、水無川とも呼ばれています。1915年に弟・重郎が亡くなったときには、中也は自転車に乗って、この吉敷川をわたり、毎日墓参りに行っていました。さて、中也ともゆかりの深いこの吉敷川が舞台となったとされる作品は、次のうちどれでしょうか。

- 1 「一つのメルヘン」
- 2 「夏の日の歌」
- 3 「幻影」

答えは14ページ

## イ ベ ン ト レ ポ ー ト

### 特別企画展「『文学界』と中原中也—1930年代の文芸復興」

8月29日より開催中の特別企画展「『文学界』と中原中也—1930年代の文芸復興」。1933年に創刊した文芸誌「文学界」の成り立ちや特徴、中也との関わりなどについて、様々な視点から紹介しています。今回取り上げる展示資料は、中也の友人・青山二郎の遺品類です。青山は「文学界」の装幀を長年担当し、当時から高い評価を受けていました。1930年代、人々は大不況にあえぎ、戦争の影響が徐々に日常生活にも色濃くなっていきます。そんな不安に満ちた時代に、陶磁器や染め物の図案・絵柄をもとに描いた「文学界」の美しい表紙は、人々の心を和ませたに違いありません。この度の展示では、「文学界」表紙下絵、校正刷り、青山愛用の筆と硯などがずらりと並んでいます。大らかであり、なおかつ研ぎ澄まされた青山二郎の美の世界。その一端をぜひこの機会にお楽しみください。展示は10月31日まで。(10月1日より資料の一部を展示替えしています)



### 特別企画展「『文学界』と中原中也—1930年代の文芸復興」

開催中～10月31日(木)

【入館料】一般 310円(262円) / 大学生 210円(157円) / 小中高生 150円(105円)

※70才以上は無料 ※( )内は20人以上団体料金

## 山口市民会館

http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/

### ディズニー・オン・クラシック ～まほうの夜の音楽会 2013

2013年11月23日(土・祝) 17:30開演

会場:大ホール

### ようこそ、まほうの夜の音楽会へ!

2013年秋に11回目を迎えるディズニー・オン・クラシック。今年「Happiness with You ～笑顔」とともに「ピノキオ」、「リトル・マーメイド」、そして「バイレーツ・オブ・カリビアン」など、ディズニーの輝く名曲の数々をNYブロードウェイで活躍するヴォーカリストたちとフルオーケストラの演奏でお贈りします。指揮者に迎えるのは、第1回より指揮者を務める傍ら楽曲のアレンジなど精力的に手掛け、また日本の聴衆の心を見事に掴んで、毎年コンサートで大成功へと導いてきたブラッド・ケリー。演奏するのは、日本最古の歴史と伝統を誇るオーケストラ、東京フィルハーモニー交響楽団のメンバーで構成された「ネバーランド・オーケストラ」。色鮮やかな照明や、アニメーションとともに名曲がよみがえります。



ステージ写真は過去の公演です

©Disney

わたしはココに注目する!

ディズニー映画を愛する人なら一度は聴いたことのある名曲の数々。オーケストラとヴォーカリストたちによる豪華共演があなたに魔法をかけ、夢の世界にいでいます。

チケット情報 発売中

料金 全席指定 前売 S席 一般 8,000円/A席 完売

※any会員は一般料金より各500円引き(1会員4枚まで)

親と子どものミュージカル

### 「ルドルフとイッパイアッテナ」

2013年12月21日(土) 18:30開演

会場:大ホール

### 日常をちょっと飛び越えて広がる冒険の世界



子猫のルドルフはある日突然知らない町に。そこで出会った野良猫のボスイッパイアッテナは、たくさん

原作の児童文学「ルドルフとイッパイアッテナ」。2匹のネコによる知恵と勇気と友情が描かれたこの物語を、作曲家のいずみたくとイツフオーリーズがミュージカル作品として舞台化。1993年の初演以降全国各地でロングランを重ね、2005年には韓国3都市でも上演されるなど、国内外で高い評価を集めている本作が、この冬ついに山口に登場します! さあ、あなたも2匹と一緒に冒険の旅に出かけましょう。

たくさんを知り合いがいて、字まで読めちゃう不思議な猫だった…。第27回講談社児童文学新人賞を受賞、NHK教育テレビ「てれび絵本」でも取り上げられるなど、子どもたちだけではなく大人からも愛される斉藤洋

わたしはココに注目する!

ミュージカルならではの迫力とライブ感、心に残る歌や音楽が、絵本や小説とは違う感動を私たちにあたえてくれます。ぜひ親子でお楽しみください。

チケット情報 any会員先行予約 10月5日(土)～

一般発売 10月12日(土)～

料金 全席指定 前売 一般 3,000円 any会員 2,700円(1会員4枚まで) こどもステーション山口会員 無料

当日 3,500円 ※3歳以上有料

■特に記載のない場合、any会員割引は1会員2枚まで。  
■いずれの公演も当日券は各種割引の対象外となります。 ■特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。  
■特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。



●ハイナーさんの考え方が中々興味深いものだった。もっと追求して欲しい点もあった時間が足りなかった。(20代男性 「YCAM10周年記念祭オープニングトーク」より)  
●2人の演奏が楽しかったです。映像と音楽の調和が楽しかったです。リズムが飛び出してきました。(40代女性 「THE OPENING LIVE CONCERT」より)  
●チェンバロの音色が川のせせらぎに聞こえた。アンコールを何回もありがと。(50代女性 「ストラディヴァリウス・サミット・コンサート2013」より)  
●中也が東京以西の各地を巡ったことがよく分かりました。(50代男性 「旅する中也—汽車の笛聞こえもくれば」より)

# any通信

猛暑が過ぎ去り  
待ちわびた  
秋の到来



かわいいだけじゃないんです。

YCAM10周年のオリジナルグッズとしてキャンディーが登場。スペイン生まれのアート・キャンディ・ショップ、ババブレとのコラボレーションで誕生しました。伝統の技法を用いて職人が手作りで作った宝石のような輝きを持つキャンディー。かわいいだけでなく、とってもおいしいと好評で、いま一番人気のグッズです。ワンコイン(500円)で買える手軽さも魅力。1袋で6つの味が楽しめます。一度ご賞味あれ。

音楽の視点から映画を鑑賞!

音楽家・坂本龍一が音と音楽に焦点をあてて選定した映画を特集上映する「音楽家が

選ぶ、音楽映画」。単に傑作として映画を観る、あるいは音楽を聴くのではなく、音楽と映像の新たな関係性を探る試みとして行います。期間中、岸野雄一による映画音楽に関するレクチャーもあり。普段とは違う映画の面白さが発見できるはず!

「音楽家が選ぶ、音楽映画」

2013年11月8日(金)～18日(月)

※12日(火)はお休み

会場:山口情報芸術センター スタジオC

[料金] [1回券] 一般 1,000円

any会員・特別割引・25歳以下 500円

[3回回数券] 一般 2,500円

any会員・特別割引・25歳以下 1,300円

関連レクチャー

2013年11月16日(土) 14:00～

会場:山口情報芸術センター スタジオC

[講師] 岸野雄一

[料金] 無料

2014年、開館20周年を迎えます。



中原中也記念館は、2014年2月18日に開館20周年を迎えます。メモリアルとなる来年は、記念事業として、記念館のこれまでの歩みを振り返る企画展、子どものためのワークショップ、中学生向けの教材制作、コンサートなどなど、魅力あふれる企画をたくさん実施していきます。その準備や改修工事のため、11月からお休みしますが、2月16日からリニューアルオープンしますので、これまで以上に期待ください! なんと、オープン初日から18日までの3日間は、20周年を記念して無料開放します。これを機にぜひ中原中也記念館に足をお運びください。



©2012 Decade, Pigdom

## 「Playback」

(2012年/日本/113分/モノクロ/35mmフィルム)

[監督]三宅唱 [出演]村上淳、波川清彦 ほか

映画には、幅広いジャンルと手法のものがあって、いまや「映画という形の何か」だったり、「何かという形の映画」であることがたまにある。そして、話題になる映画は、映画の内容のことでそれ以外でも、何かの驚きを持って迎え入れられることが多かったです。本作は、ただ物語がそこに進行していくだけ。映像から穏やかな空気を感じながら、そこに流れる、ささやかな感情を受け止めつつ、スクリーンをただ、ただ見つめていくのみ。そして、映画が終了した時、じわじわとふつふつと湧いてくる何か。物語の中にある何か。一見、それと気がつかない演出の何か。つまり、観る人に大きくわかりやすい手法で、その何かを感じさせなくても、その作品の力で、その何かがずっと頭や心の中に浮いたり、引っかかってくるような…。この作品を、真つすぐな映画だと言わ

ずして、どう言ったらいいのかわからない。かの映画解説者、水野晴郎さんの有名な口癖を思い出さずにはられない作品で、本当に久々にかなり深い、気持ちのよい、深呼吸をしてしまった。YCAM10周年記念祭のプログラムの一つで、現在山口市駅通りのカフェFRANKで開催中の「FILM by MUSIC」でも、招聘作家として三宅唱監督に作品を制作していただいた。その名も「ブラジル旅行」。12月1日まで上映しているので、こちらもぜひご覧ください。

松冨淑香 (YCAM シネマ担当)

2013年11月1日(金) 19:00～

会場:山口情報芸術センター スタジオC

[料金] 一般 1,300円

any会員・特別割引・25歳以下 800円



©2012 Decade, Pigdom

「Playback」 作品紹介

映画俳優のハジは、40歳を前に仕事と妻との別居などで人生の分岐点に立つが、まるで他人事のようにふるまっていた。そんな時、故郷を訪れる彼に、ある出来事が起こる。三宅唱監督、劇場長編デビュー作。

# ARTIST VOICE

アーティスト  
ボイス

ルリン・フィル — ニック・  
ストラディヴァリ・ロイスツ  
(音楽家・アンサンブル)

名器ストラディヴァリウスを11台集めて、世界的なオーケストラ「ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団」のメンバーが演奏する「ストラディヴァリウス・サミット・コンサート」。最後スタンディングオベーションが湧き上がるほどの感動を私たちに残してくれましたが、アンサンブルのメンバーにとってどのような演奏会となったのか、お話を伺いました。

音楽を通じて交流ができたことは  
大変幸せなひと時でした。



今までに訪問したことのない街でコンサートを聞き、新しい聴衆の皆さんと一緒にストラディヴァリウスという世界最高峰の楽器を通じて奏でる音楽の素晴らしいさを分かち合えることは私たちにとても新鮮な喜びです。今回、山口市という風光明媚な街を訪れることができたこと

を大変嬉しく思っています。山口宇部空港に降り立った時から、その瀬戸内海と山並みの美しさに感銘を受けました。

私たちベルリン・フィルのメンバーがストラディヴァリウスを手にはできるのは、2年に一度の日本ツアーのみですので、楽器を手にした私たちは喜びのあまり、全ての公演で全身全霊を捧げて演奏しています。そして演奏に対して、素晴らしい聴衆の皆様の反応が返ってくることは、われわれの大きな喜びです。

山口の聴衆の皆様と音楽を通じて交流ができたことは大変幸せなひと時でした。本当にありがとうございました。

ストラディヴァリウス・  
サミット・コンサート2013

2013年6月8日

会場:山口市民会館 大ホール



総額90億ともいわれる11台のストラディヴァリウスが集結し、世界最高峰のオーケストラ「ベルリン・フィル」のトップメンバーたちがその名器たちを演奏する贅沢なコンサートを、山口で開催。ストラディヴァリウスの音色と響きの素晴らしさに魅了された聴衆からの惜しみない拍手と、アンコール終了後のスタンディングオベーションは演奏家にも大なる刺激と感動を与えるコンサートとなった。

ベルリン・フィルハーモニック・  
ストラディヴァリ・ロイスツ  
BERLIN PHILHARMONIC STRADIVARI SOLOISTS

世界最高のオーケストラ「ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団」を中心とした弦楽アンサンブル。1993年の「サミット・コンサート」開催に際して結成され、以来、2年ごとの来日コンサートにすべて出演。その比のない演奏は、るところでをし、99年にはベルリン・フィル当局からその名を授けられたアンサンブルとして公に認められている。

My Favorite.

事務所にあるプリンター横の窓からの景色です。入館した際の緊張した私をほぐしてくれた空たち。山の向こう側を想像すると心がふっと…。少し慣れてきた近頃は、この空の下、足を運んでくださった方々とびぎりの笑顔でお帰りいただけたら、と。

中野 恭子 (山口市民会館 職員)



いらっしませ



ビアへるん ヴァイツェン  
700円

国内外のクラフトビールが味わえる

YCAM10周年の企画の一つとして、商店街の空き店舗を改装して展開している「YCAMDOMMUNE」。ここでは会期中夜にバーが出現します。市内でカフェを営むToyToyさんが自分の喉で納得して集めたおいしいクラフトビールを提供。ビギナーには島根のビアへるんのヴァイツェンがおすすめ、ということでさっそく注文。専用のグラスへ黄金色に輝くビールが注がれ、おお、なんと美しい!! さてさて一杯、ごくり。ん?! ビール特有のものがほとんどなく、代わりにバナナのような甘味がのどを潤してくれる。とってもフルーティ! これならビールが苦手…という人でも楽しめるのでは? 様々なテイストのビールを飲み比べることができて、おつまみも充実! DOMMUNEのライブ映像や音楽とともに山口の夜を楽しもう!

TOYTOYDOMMUNE

山口市道場前1-2-31 ※twitter、facebookあり

営業期間:11月1日(金)～12月1日(日)

18:00～22:00 火曜休み

## GOOD GOODS



中原中也記念館オリジナルグッズ  
一筆箋

デザインリニューアルの一筆箋

以前もご紹介したことのある一筆箋が、デザインをリニューアルして再登場。中也の詩「汚れつちまつた悲しみに…」[サーカス][月夜の浜辺][宿酔][一つのメルヘン]をモチーフにした一筆箋で、表紙に開いた窓からイラストがのぞく、楽しいデザインになっています。用紙には詩の一節とワンポイントデザインが入っていて、その可愛いイラストと中也の言葉が文字を書くことに意識を深めてくれます。いつも葉書や手紙をしのばせて、友人たちに言葉を送っていた中也。そんなふうにあなたも誰かに伝えたい思いを、何気なくこの一筆箋につづってみてはいかがでしょうか。

価格:400円(税込) 35枚綴り(詩5種各7枚入り)

「の!」

- 人がいないというところで新しい演劇を観た気がした。(20代女性 ハイナゲッペルス「Stifters Dingel」より)
- 1700年代の楽器からの音が2013年の空気の中で流れる。素敵な時間となりました。(30代男性 「ストラディヴァリウス・サミット・コンサート2013」より)
- 坂本さん大好きですが、スタンディングちょっときつい。(30代女性 「THE OPENING LIVE CONCERT」より)
- 音、映像の知覚についての話がおもしろかった。(40代男性 「YCAM10周年記念祭オープニングトーク」より)

「の!」

- ヤンさんの演奏は愛と誠実さの賜。素晴らしいかったです。私の人生の中でも脳内物質がヤンさんのように一生懸命活動してくれているんだなあと、見えない世界を見たようでした。(40代女性 「YCAMDOMMUNELIVE」より)
- もっとこじんまりとした会場の方がよいのですかね? 近くでふんわりと聴きたかった。(40代女性 「ストラディヴァリウス・サミット・コンサート2013」より)
- 歌謡も含めて中也詩の本質である「唄」「音楽」ということが、これほどの確、かつわかりやすく展示されているのを見たことがありません。(50代男性 「中也のうた」より)

# 10 October

# 11 November

# 12 December

掲載内容は2013年9月1日現在のものです。変更場合がありますので、ご了承ください。

山口情報芸術センター (YCAM) http://10th.ycam.jp/ ※年末年始のお休み12/29~1/3	開催中	坂本龍一+YCAM InterLab 「Forest Symphony」	「LIFE by MEDIA」[YCAMDOMMUNE] 会場:山口市中心商店街(本誌P9参照)	walking around surround インスタレーション 会場:はりはり(本誌P8参照)	国際シンポジウム「Localizing Media Practice—地域化するアートの未来」(本誌P8参照)
		「FILM by MUSIC」会場:FRANK、一の坂川周辺(本誌P9参照)			
		子どもたちが創造する屋外メディア公園「コロガルパビリオン」			
			坂本龍一+高谷史郎 「LIFE-fluid, invisible, inaudible...」(本誌P9参照)	坂本龍一+高谷史郎 新作インスタレーション(本誌P8参照)	
					~2014/3/2
	シアター	能楽コラボレーション 野村萬斎+坂本龍一+高谷史郎 「LIFE-WELL」(本誌P8参照) ※関連展示・ライブあり			
	シネマ	4 6 「100万回生きたねこ」 「いわさきちひろ ~27歳の旅立ち」	10 14 王兵特集「三姉妹」ほか	25 27 レフ・クレシヨフ 傑作選	1 3 「FILM by MUSIC」 関連上映
			8 11 音楽家が選ぶ、音楽映画 ※11/16関連トークあり	13 18 「御法度」 「戦場のメリークリスマス」ほか	21 24
山口市市民会館 http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/ ※年末年始のお休み12/29~1/3				23 ディズニー・オン・クラシック ~まほうの夜の音楽会 2013(本誌P11参照)	
					6 8 ロバート・クレイマー特集
					12 15 文化庁優秀映画 鑑賞推進事業
					20 22 「世界一美しい本を作る男 —シュタイデルとの旅—」
					15 「ハギヤグニーニ 日本ツアー 2013」山口公演 (本誌P2~7参照)
					12 ORANGE RANGE LIVE TOUR 013 ~spark~ (本誌P11参照)
					10 松山千春 コンサート・ツアー 2013
					21 親と子どものミュージカル 「ルドルフとイッパイアッテナ」 (本誌P11参照)
中原中也記念館 http://www.chuyakan.jp/ ※11/1~2014年2/15は 改修工事ともなう休館	開催中	特別企画展「『文学界』と中原中也—1930年代の文芸復興」(本誌P10参照)	31		
		6 ワークショップ	13 プロムナード・トーク (本誌P10参照)	25 中原中也を読む会	
			中也忌 (本誌P10参照) 20	26 一箱古本市&カフェ(本誌P10参照)	
				22 中原中也を読む会 会場:山口情報芸術センター	
					27 中原中也を読む会 会場:山口情報芸術センター

[マーク説明] 体験する 参加する 聴く 観る

## INFORMATION

### ■公演チケットのお求めについて

山口市文化振興財団が主催・共催する公演チケットは以下の方法にてご予約・ご購入ください。

#### 予約方法

**インターネット** 山口市文化振興財団ホームページ (要事前登録・24時間受付)

**http://www.ycfcp.or.jp/**

※any会員の方は先行予約初日の10:00より、一般の方はプレイガイド発売日の10:00より受付開始。



**電話** チケットインフォメーション (10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

**TEL. 083-920-6111**

**窓口** チケットインフォメーション (10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

### 山口情報芸術センター

※先行予約初日はインターネットまたはお電話のみの受付となり、窓口のご利用は翌日からとなります。

#### 支払方法

**クレジットカード** インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。

チケットのお受け取りはお近くのセブンイレブンまたは山口情報芸術センターにお越しください。

**セブンイレブン** インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。

お近くのセブンイレブンでお支払いいただけます。チケットはその場でお受け取りください。

**窓口** ※上記予約方法「窓口」参照

### ■託児サービスについて

山口市文化振興財団では託児サービスを行っています。

※おもちゃ、おむつ、着替え等必要なものはご持参ください。お子様の食事は事前に済ませておいてください。

#### 公演開催時

[対象] 0才(6ヶ月)以上

[料金] 1人につき500円、  
2人目以降は1人につき300円

[時間] 開演の30分前から終演後30分まで

[申込方法] 公演日の1週間前までに左記チケットインフォメーションまたは山口情報芸術センターにてお申し込みください。

※公演によっては行わない場合もございます。事前にお問い合わせください。

#### 山口情報芸術センター キッズスペース

[対象] 1才以上

[料金] 1人につき30分150円

[時間] 13:00~17:00 1回2時間まで  
(山口市立中央図書館休館日を除く)

[申込方法] 当日、山口情報芸術センターにてお申し込みください。満員の際は順番制となります。

## any 会員募集!

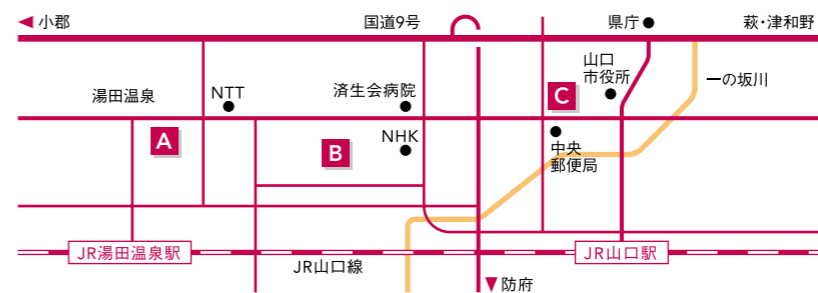
※入会方法等、詳しくはお問い合わせください。

any会員は、山口情報芸術センターや山口市市民会館などで行われる財団主催・共催の公演や展示、ワークショップ等の情報をいち早くお知らせし、楽しんでいただくための友の会です。公演のチケットが一般の方よりも安く、早く購入できるなどの特典があります。

[年会費] 1,500円+入会金500円 ※会員期間内に更新される場合、入会金は不要です。

[会員期間] 入会日から翌年の入会月末まで

[会員特典] チケットの先行予約および割引購入(公演によっては適用されないものもあります)、情報誌の無料送付、YCAMシネマ・中原中也記念館招待券プレゼントなど



公益財団法人

**山口市文化振興財団**

Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

〒753-0075 山口市中央2-5-1  
TEL. 083-923-1000 / FAX. 083-928-8488  
http://www.ycfcp.or.jp/ zaidan-info@ycfcp.or.jp

### 編集後記

YCAM10周年は屋外展示もあり、突然の豪雨や雷に泣かされたのがなんと第1期が終了。ほっとしながらも淋しい気持ちでいると、この夏の太陽で小麦色になったみんなの顔に10周年焼けの跡を見つけ、おもわずにやり。[M.D]

怒涛のような10周年の第1期が終わり、活気にあふれた事務局もスタッフが少なくなって、寂しい限りです。ここにも秋の訪れが…。11月からの第2期に備えるべく、これから夏休みを取り戻すぞ! [T.I]

#### A 中原中也記念館

〒753-0056 山口市湯田温泉1-11-21  
TEL. 083-932-6430 / FAX. 083-932-6431  
[開館時間] 9:00~18:00(入館は17:30まで) [5~10月]  
9:00~17:00(入館は16:30まで) [11~4月]  
[休館日] 月曜(祝祭日の場合は翌日)、毎月最終火曜(変更あり)、年末年始  
http://www.chuyakan.jp/ chuyakan@c-able.ne.jp

#### B 山口情報芸術センター(YCAM)

〒753-0075 山口市中央2-5-1  
TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216  
[開館時間] 10:00~20:00(夜間イベントのある日は22:00まで)  
[休館日] 火曜(祝祭日の場合は翌日)、年末年始  
http://www.ycam.jp/ information@ycam.jp

#### C 山口市市民会館

〒753-0074 山口市中央2-5-1  
TEL. 083-923-1000 / FAX. 083-928-8488  
[開館時間] 8:30~17:15 [休館日] 年末年始  
http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/ shiminkk@c-able.ne.jp



検定 中 也  
A. ■ 「一つのメルヘン」

「秋の夜は、はるかかの彼方に、小石ばかりの、河原があつて、」と始まり、「今迄流れてもみなかつた川床に、」水が流れるという表現が「古歌川」を連想させます。



観 覧 聴 取  
の ！  
●どんな内容か予測できずワクワクして見ましたが、期待を裏切らない内容でした。演出がとてもしきれいで、雨のシーンは少し切なくなるような素敵なシーンでした。(20代女性 ハイナール・ゲッベルス「Stifters Dinge」より)  
●素晴らしいヴァイオリンの音色に魅かれ、すっきりした透明な時間が過ぎていきました。(50代男性 「ストラディヴァリウス・サミット・コンサート2013」より)  
●切符とか地図まであって楽しめました♪ (10代女性 「旅する中也—汽車の笛聞こえもくれば」より)





公益財団法人  
山口市文化振興財団  
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

